

特別会計・公営企業会計の決算概要

市には、13の特別会計と5つの公営企業会計があります。

公営企業会計を含め特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、経理をほかの会計と区別する必要があるため設置しているものです。また公営企業会計とは、公営企業法を適用した特別会計のことで、民間企業と同様の経理をしている会計のことをいいます。

また次の2つの表の下水道事業とは、特別会計では福島・鷹島地域で行っている漁業集落排水事業、公営企業会計では志佐町で供用開始をしている公共下水道事業のことを指しています。

■表5 特別会計の決算（見込み）

区分	歳入	歳出
青島診療所事業	4,315万4千円	4,204万5千円
鉦害復旧灌漑用水施設維持管理事業	2,120万6千円	1,891万9千円
国民健康保険	36億497万3千円	32億1,485万5千円
老人保健	723万1千円	552万6千円
後期高齢者医療	2億3,758万円	2億3,653万1千円
介護保険	24億703万7千円	23億8,496万4千円
簡易水道事業	3億6,753万3千円	3億6,398万4千円
福島診療所事業	3億2,168万5千円	3億1,951万5千円
鷹島診療所事業	1億9,197万5千円	1億8,413万3千円
下水道事業	1億4,305万2千円	1億4,170万5千円
松浦魚市場	2億6,838万7千円	2億6,526万2千円
臨海土地造成事業	3,503万6千円	3,459万9千円
工業団地造成事業	467万3千円	467万3千円

■表6 公営企業会計の決算

区分		決算額	備考
水道事業	収益的	収入 3億2,024万7千円	22年度純利益 197万3千円
		支出 3億1,827万4千円	
	資本的	収入 5,191万6千円	収入額が支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金および当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。
		支出 1億6,382万7千円	
業務量		年間総配水量 2,922,182 立方 [㍓] 年度末給水件数 7,209 件	
工業用水道事業	収益的	収入 1億5,840万円	22年度純利益 1,485万2千円
		支出 1億4,354万8千円	
	資本的	収入 1円	資本的支出額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額および建設改良積立金で補てんしました。
		支出 206万8千円	
業務量		年間総給水量 4,489,500 立方 [㍓] （責任使用水量制） 年度末給水企業数 2 社	
下水道事業	収益的	収入 1億2,894万1千円	22年度純損失 7,953万7千円
		支出 2億847万8千円	
	資本的	収入 2億830万1千円	収入額が支出額に不足する額は、当年度消費税および地方消費税資本的支出調整額で補てんしました。
		支出 2億840万9千円	
業務量		供用開始区域 145.6 [㍓] 供用開始人口 4,570 人	
交通事業	収益的	収入 3,467万1千円	22年度純損失 156万6千円
		支出 3,623万7千円	
	資本的	収入 1円	
		支出 1円	
業務量		輸送人員 49,297 名	
診療所事業	収益的	収入 4億8,642万9千円	22年度純損失 4,826万7千円
		支出 5億3,469万5千円	
	資本的	収入 1億6,529万2千円	
		支出 9,394万3千円	
業務量		年間患者数 入院 3,856 人（前年度比 1,503 人増） 外来 16,241 人（前年度比 1,446 人増）	

市債と基金の残高状況

■表8 基金の状況

区分	22年度末残高(千円)
財政調整基金	1,411,653
地域振興基金	564,119
減債基金	114,868
地域福祉基金	359,319
公共用施設維持基金	246,297
土地開発基金	195,471
人材育成基金	179,930
文化・スポーツ振興基金	55,997
公共用施設維持補修基金	13,448
松濤奨学基金	59,454
工業用地造成事業基金	127,160
合併振興基金	1,584,192
公共用施設整備基金	0
白浜五地区地域振興基金	199,673
その他	58,484
小計	5,170,065
鉦害復旧灌漑用水施設維持管理基金	1,309,797
国民健康保険財政調整基金	358,134
国民健康保険保険給付費資金貸付基金	3,000
介護給付費準備基金	156,059
介護従事者処遇改善臨時特例基金	556
簡易水道事業基金	20,113
水資源開発基金	29,917
下水道財政運営基金	10,297
地方卸売市場松浦魚市場運営基金	5,260
小計	1,893,133
合計	7,063,198

市債とは(表7)、公共施設の建設など、市が一度に多額の出費を必要とする場合に認められる長期の借入金のことです。前年度末残高と比べて一般会計は14億8,982万2千円増加し、特別会計・企業会計を含めた全体では、3億469万3千円の増加となっています。

基金とは(表8)、一般家庭でいうと預金にあたるものです。前年度末残高と比べると、一般会計は8億6,905万9千円、全体で8億7,455万4千円増加しています。

■表7 市債の状況

会計の名称	22年度末残高(千円)
一般会計	18,689,702
特別会計	
簡易水道事業	2,507,780
福島診療所事業	335,043
鷹島診療所事業	48,300
下水道事業	998,955
松浦魚市場	722,452
臨海土地造成事業	17,300
工業団地造成事業	27,475
小計	4,657,305
公営企業会計	
診療所事業	359,989
水道事業	1,087,810
下水道事業	3,104,636
小計	4,552,435
合計	27,899,442

松浦さんちの家計簿

市の財政状況を身近に感じていただくために、市の財政と家庭の家計では仕組みが違うので多少無理がありますが、あえて給料・パート月収25万円(年収にして300万円)の家庭に例えてみます。

1カ月の総収入86万8千円のうち、給料など家族で稼いだお金は25万円しかなく、59万9千円も仕送りや借金に頼り、それでも足りないために貯金から1万9千円を下ろしていることとなります。

支出は、食費や医療費、光熱水費や子どもへの仕送りなどに41万4千円、ローン返済に9万2千円かかっており、普段の生活費としては50万6千円かかっていることとなります。

家族の稼いだお金よりも生活費が25万6千円も多いということになり、とても不安定な厳しい状況にあるといえます。普段の生活分は、自分の給料で賄えるくらいが安心ですが、今後のことを考えると給与の増額はあまり期待できません。また、親からの支援にも頼ってばかりいただけません。となると、経費をいかに節減し、限られた給料の中でやりくりしていくかが重要となっています。

収入

松浦さんちの1カ月の収入		該当する市の収入
給料・パート収入	25万円	市税などの自主財源
貯金の取り崩し	1万9千円	繰入金
親からの仕送り	49万円	国・県支出金などの依存財源
借入金	10万9千円	市債
1カ月収入合計	86万8千円	

支出

松浦さんちの1カ月の支出		該当する市の支出
食費や家族の医療費など	25万5千円	人件費、扶助費
住宅ローンの返済	9万2千円	公債費
光熱水費など	9万円	物件費
子どもへの仕送り	6万9千円	繰出金
友達への支援	8万9千円	補助費など
車購入や自宅の増改築	17万9千円	投資的経費
積立貯金など	7万2千円	その他
1カ月支出合計	84万6千円	